

第3学年 音楽科学習指導案

題材名 クラシックギターに親しみ、アンサンブルに挑戦しよう

教材 「My Heart Will Go On」(映画「タイタニック」のテーマより)

作詞 Will Jennings 作曲 James Horner

八尾市立〇〇中学校

第3学年〇組

授業者 〇〇〇〇

1. 題材の目標

- (1) ギターの構造や奏法について理解するとともに、創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方、合奏の技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) 声部の役割と全体の響きとのかかわりを知覚・感受し、曲にふさわしい表現を創意工夫する。(思考力・判断力・表現力等)
- (3) 器楽表現にかかわる知識・技能を生かし、主体的・協働的に取り組む。(学びに向かう力・人間性等)

2. 学習指導要領との関連及び【共通事項】

第2・3学年 A表現 (2)器楽

ア 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫すること。

イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。

(ア) 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり

(イ) 楽器の音色や響きと奏法の関わり

ウ 次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。

(ア) 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能

(イ) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能

【共通事項】

音色、リズム、旋律、テクスチャ

3. 指導にあたって

題材・教材観 本教材曲は大半の生徒が耳にしたことがある曲であるため、器楽表現に苦手意識を持つ生徒にも比較的スムーズに導入できる教材である。旋律は、ほぼ第1弦だけで演奏できるため、初心者にとっても演奏しやすく、伴奏もG・D・C・Emの4つのコードを用いた基本的な奏法と開放弦を多く使ったリズムパターンで構成されているため、小アンサンブルの活動を通じた生徒同士の関わり合いの中で、ギターの演奏技能や表現技能を高め合うとともに、ギターを演奏する喜びや楽しさを味わいながら、主体的・協働的に学ぶことができる。

生徒観 略

指導観 2年生の授業で初めてギターを手にする生徒が大半であったことから、授業を通してギターの奏法の基礎をおさえつつ、鑑賞等を通じて感じた「好きな音」や「心地よい音」を意識させるようにしたい。また、自分の演奏と「見比べる」「聴き比べる」といったグループ活動を行うことで「どのような工夫をすれば良い音が出せるのか」「どうすれば指がスムーズに動くのか」などの意見交流を通して自分たちで課題を発見し、上達できるよう支援していきたい。

4. 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【知】 ギターの音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 【技】 ①創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ②創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	ギターの構造や奏法による音色の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。

5. 指導計画と評価計画（全 10 時間）

	◇めあて ○学習内容 ・学習活動	【共通事項】	知/技	思/判/表	主体的
1	◇「My Heart Will Go On」を知ろう！ ○「タイタニック」のダイジェスト版を鑑賞する。 ・楽曲の背景や曲調を知る。	旋律 リズム		ワークシート	観察
2	◇左手のポジションと右手の奏法を練習しよう！ ○既習内容(基本の姿勢・奏法)を確認する。 ○i,m の運指でアポヤンド奏法を身につける。 ・「My Heart Will Go On」の旋律を練習する。 (1・2弦による単旋律の演奏) ・グループ内で出来具合や習得状況を確認する。	旋律 リズム		ワークシート	観察
3	◇アンサンブルをするためのコードを知ろう！ ○C・D・G・E mのコードとダイアグラムを理解する。 ・「My Heart Will Go On」の初めのコードを練習する。 (G⇒D⇒C⇒G⇒D⇒Em⇒D⇒C) …「伴奏①」 ・グループ内で出来具合や習得状況を確認する。	テクスチャ			観察
4 5 6	◇グループでのアンサンブルで、自分が担当するパートを練習し、奏法を工夫しよう！ ○「My Heart Will Go On」のTAB譜とダイアグラムを理解し、自分の担当パートを練習する。 ・グループ内で「旋律」「伴奏①」「伴奏②」に分かれ、アンサンブルの練習を行う。 ・振り返りシートを記入する。	旋律 リズム テクスチャ			観察
7 8 9	◇グループ内でアンサンブルを行い、自分たちの演奏を高め合おう！ ○「My Heart Will Go On」の自分の担当パートを練習し、自分たちの目指す音を創意工夫する。 ・グループ内で「旋律」「伴奏①」「伴奏②」に分かれ、フレーズごとに練習し、ミニ発表をした後、改善点や工夫したい点を話し合い、もう一度練習を行う。 (ミニ発表：⑦2グループ、⑧2グループ、⑨2グループ)	旋律 音色 リズム テクスチャ	演奏聴取	演奏聴取 ワークシート	ワークシート
10	◇グループごとに演奏を発表し、互いの演奏を評価し合おう！ ○グループごとにギターアンサンブルを発表し、相互評価する。 ・評価シートに「良かった点」「感想」等を記入する。 ・振り返りシートを記入する。	旋律 音色 リズム テクスチャ	観察 演奏聴取 ワークシート	観察 演奏聴取 ワークシート	観察 演奏聴取 ワークシート

6. 本時の目標（8/10 時間）

『より良い音を目指し、アンサンブルの響きを追求しよう！』

7. 本時の展開（8/10 時間）

	□めあて ○学習内容 ・ 学習活動	■教師の関わり ※支援が必要な生徒への手立て・声かけ	評価規準と評価方法		
			知/技	思/判/表	主体的
導入 (8)	・チューニングを確認し、前時の活動の復習をする。	■楽譜やワークシートをもとに、前時の活動を確認させる。 ■弦の押さえ方や指の動きなど ICT を使って視覚的な支援を行う。 ※基本姿勢や右手の奏法など、ひとつひとつの動作を確認しながら練習するよう促す。			
展開 1 (20)	より良い音を目指し、アンサンブルの響きを追求しよう！		【技】 ② 観察		
	○曲にふさわしい音色を目指して練習し、フレーズごとに合わせる。 ・鑑賞等を通じて感じた「好きな音」や「心地よい音」を意識する。 ・ミニ発表に際しての注意事項をグループ内で共有する。	■生徒の進み具合をみながら、アンサンブルのコツを全体に示す。 ■テンポが合わない時は、遅い方の生徒に合わせて練習させる。（ゆっくり練習して技術を上げていく。） ■メロディーを歌いながら、「一息で歌えるのはどこからどこまでか」を考えさせ、フレーズを意識させる。 ※弦をはじく場所やはじき方によって音色が変わることを聴き取らせ、練習に取り組ませる。			
展開 2 (15)	○ミニ発表（2グループ） ・発表するグループ演奏を聴いて、評価する。 ・発表したグループの演奏を聴いて、自分たちの演奏をどうするか改善点などを話し合う。 ・話し合ったことを元に、もう一度グループ練習を行う。	■アンサンブルがうまく進んでいるグループの練習を参考にさせる。 ■他の生徒の意見や感想を参考に、自分たちの演奏向上につなげさせる。 ■自分の担当パート以外の音色にも着目させ、自分のパートとのつながりを発見させる。 ※クラスメイトが俄然やる気になる「音楽の言葉」でのやりとりや学び合いを大切にさせる。 ※生徒の技能や理解度に合わせた指導・助言を行う。	【技】 ①② 演奏聴取	発言内容	
まとめ (7)	○振り返りシートを記入し、次の回の活動の目標やポイントをつかむ。	■良い点や改善すべき点を感じ取らせ、次時の学習について見通しを持たせる。 ※アンサンブルの音色やバランスについてどう感じたか。		ワークシート	ワークシート